



第 1 章

インターフェイス番号および Cisco IOS ソフトウェアの基礎について

この章では、Cisco VG350、Cisco VG310、および Cisco VG320 Analog Voice Gateway (VG) のインターフェイスの番号付けの概要を説明します。また、Cisco IOS ソフトウェア コマンドの使用方法についても説明します。

この章では、次の主要なトピックを示します。

- 「Cisco Voice Gateway の識別」 (P.1-2)
- 「Cisco VG350 のポートの番号付け規則」 (P.1-3)
- 「Cisco VG310 および Cisco VG320 の識別」 (P.1-3)
- 「新しい Cisco IOS リリースへのアップグレード方法」 (P.1-7)
- 「次の作業」 (P.1-7)

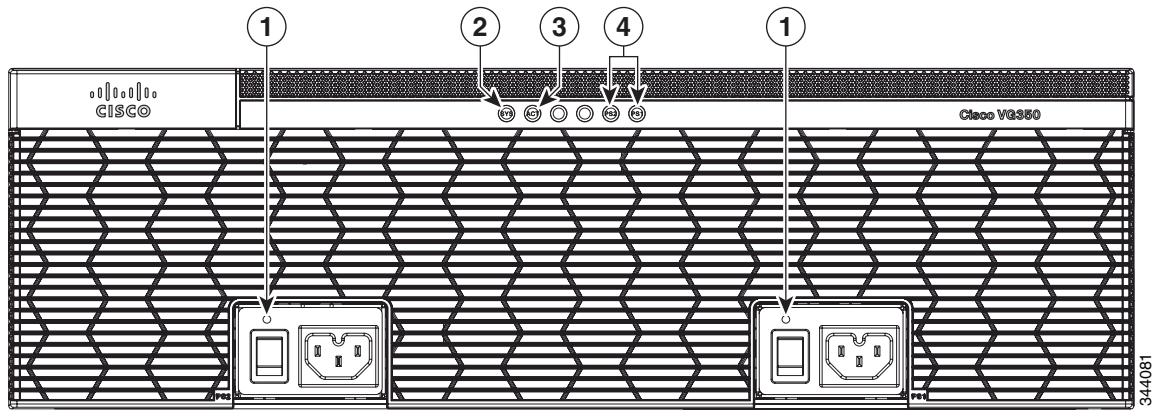
Cisco Voice Gateway の識別

この項では、Cisco VG350、Cisco VG310、および Cisco VG320 Voice Gateway プラットフォームを識別し、区別する方法について説明します。

Cisco VG350 の識別

図 1-1 は Cisco VG350 Voice Gateway のシャーシの前面パネルを示します。

図 1-1 Cisco VG350 の前面パネル

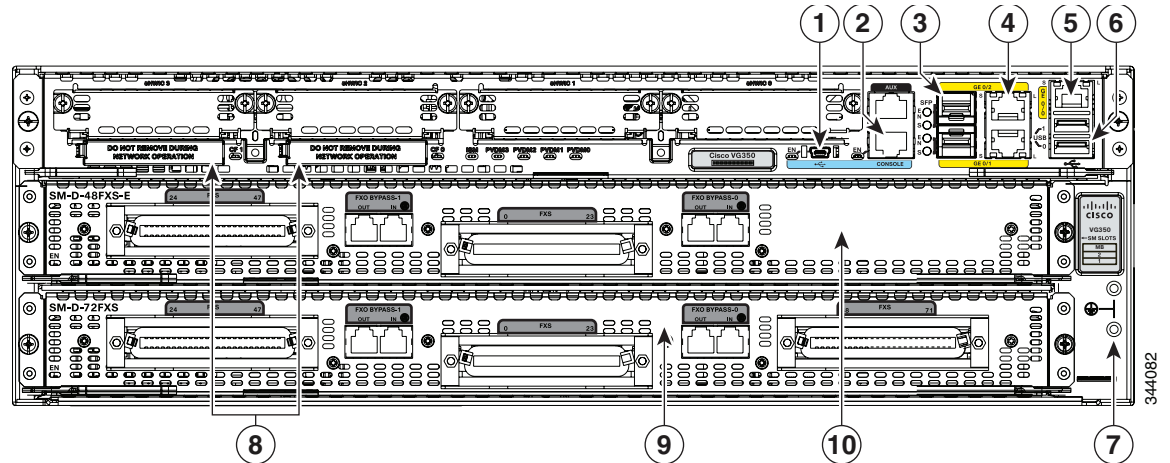


1	AC OK	3	ACT ステータス LED
2	SYS ステータス LED	4	PS1 (右)、PS2 (左)

Cisco VG350 のポートの番号付け規則

図 1-2 は Cisco VG350 の背面パネルを示します。

図 1-2 Cisco VG350 の背面パネル

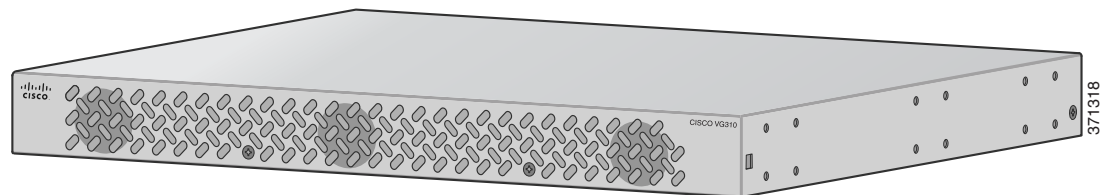


1	EHWIC スロット 10、1、2、および 3 (0 が右端)	6	USB0 および USB1 (1 が上)
2	RJ-45 シリアル コンソール ポート	7	地面
3	SFP1 および SFP2 (2 が上)	8	CompactFlash 0 および 1 (0 が右端)
4	10/100/1000 イーサネット ポート GE 0/1 および GE 0/2 (GE 0/2 が上)	9	SM-D-72FXS サービス モジュール
5	10/100/1000 イーサネット ポート GE0/0	10	SM-D-48FXS-E サービス モジュール

Cisco VG310 および Cisco VG320 の識別

図 1-3 は Cisco VG310 および Cisco VG320 Voice Gateway のシャーシの前面パネルを示します。

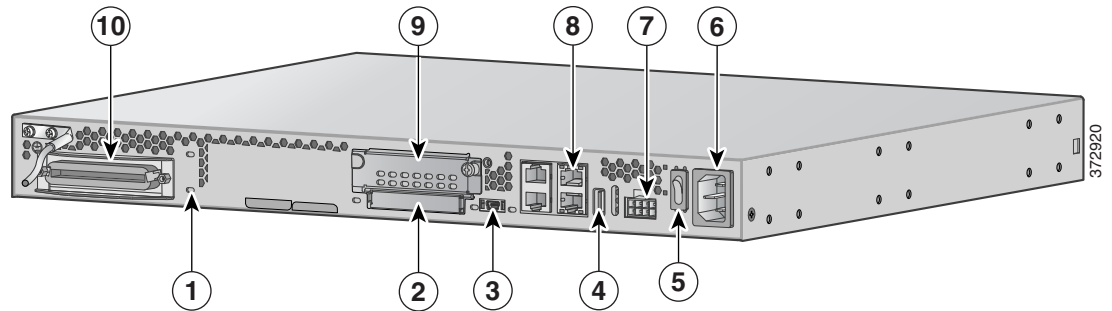
図 1-3 Cisco VG310 および Cisco VG320 の前面パネル



Cisco VG310 のポートの番号付け規則

図 1-4 は Cisco VG310 の背面パネルを示します。

図 1-4 Cisco VG310 の背面パネル

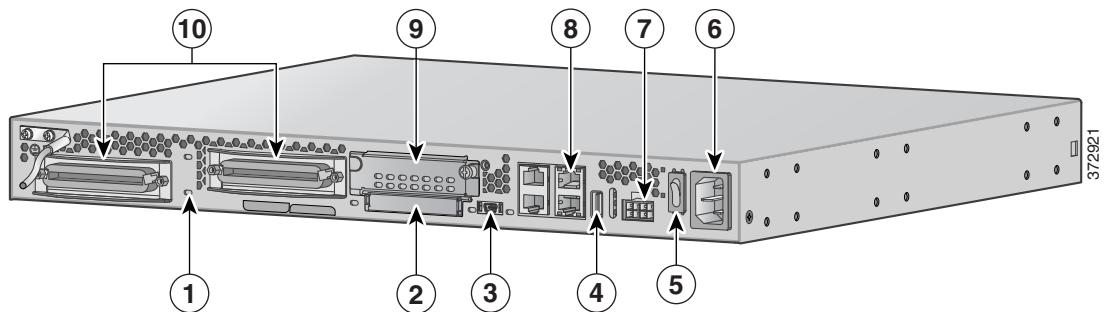


1	FXS ステータス LED	6	AC 電源コネクタ
2	CF メモリ カード	7	DC PS コネクタ
3	USB コンソール管理	8	1 Gbps イーサネット L3 インターフェイス X 2
4	USB ストレージ ポート	9	HWIC モジュール スロット
5	電源オン/オフ スイッチ	10	RJ-21 24FXS ポート コネクタ

Cisco VG320 のポートの番号付け規則

図 1-5 は Cisco VG320 の背面パネルを示します。

図 1-5 Cisco VG320 の背面パネル



1	FXS ステータス LED	6	AC 電源コネクタ
2	CF メモリ カード	7	DC PS コネクタ
3	USB コンソール管理	8	1 Gbps イーサネット L3 インターフェイス X 2
4	USB ストレージ ポート	9	HWIC モジュール スロット
5	電源オン/オフ スイッチ	10	RJ-21 48FXS ポート コネクタ X 2

Cisco IOS ソフトウェアの基礎について

この項では、CLI を使用してルータを設定する前に Cisco IOS ソフトウェアについて理解しておく必要のある事項について説明します。この章では、次の内容を説明します。

- 「ヘルプの表示」(P.1-5)
- 「コマンドモード」(P.1-5)
- 「コマンドまたは機能の取り消し」(P.1-7)
- 「変更した設定の保存」(P.1-7)
- 「次の作業」(P.1-7)

これらの概念を理解しておくこと、円滑に CLI を使い始めることができます。Cisco IOS ソフトウェアの使用経験がまったくないか、更新情報が必要な場合は、次の章に進む前にこの章を読んでおいてください。

すでに Cisco IOS ソフトウェアを十分理解している場合は、「ホスト名とパスワードの設定」(P.2-1) に進んでください。

ヘルプの表示

疑問符 (?) と矢印キーを使用すると、コマンドの入力に役立ちます。

- 使用可能なコマンドのリストを表示するには、疑問符を入力します。
Router> ?
- コマンドを完成させるには、わかっている文字を数文字入力し、続けて疑問符を入力します (スペースなし)。
Router> s?
- コマンド変数のリストを表示するには、コマンドに続けてスペースと疑問符を入力します。
Router> show ?
- 以前に入力したコマンドを再表示するには、上矢印キーを押します。上矢印キーを押し続けると、さらに前に入力したコマンドにさかのぼって、順に表示されます。

コマンドモード

Cisco IOS ユーザ インターフェイスは、多くのモードに分かれています。各コマンドモードで、ルータ上の異なるコンポーネントを設定できます。その時点で使用可能なコマンドは、現在どのモードにいるかによって異なります。プロンプトで疑問符 (?) を入力すると、各コマンドモードで使用できるコマンドの一覧が表示されます。表 1-1 に、最も一般的なコマンドモードのリストを示します。

表 1-1 一般的なコマンドモード

コマンドモード	アクセス方法	表示されるルータプロンプト	終了方法
ユーザ EXEC	ログインします。	Router>	logout コマンドを使用します。
特権 EXEC	ユーザ EXEC モードから、 enable コマンドを入力します。	Router#	ユーザ EXEC モードを終了するには、 disable 、 exit 、または logout のいずれかのコマンドを使用します。
グローバル コンフィギュレーション	特権 EXEC モードから、 configure terminal コマンドを入力します。	Router (config)#	特権 EXEC モードを終了するには、 exit コマンドまたは end コマンドを使用するか、 Ctrl+Z を押します。
インターフェイス コンフィギュレーション	グローバル コンフィギュレーションモードから、 gigabitEthernet0/0 などの GigabitEthernet インターフェイス コマンドを入力します。	Router(config-if)#	終了してグローバル コンフィギュレーションモードに戻るには、 exit コマンドを使用します。 特権 EXEC モードを直接終了するには、 Ctrl+Z を押します。



ワンポイントアドバイス

各コマンドモードで使用できるコマンドは、コマンドのサブセットに制限されています。コマンドの入力において問題が生じた場合は、プロンプトを確認するとともに、疑問符 (?) を入力して使用できるコマンドのリストを表示してください。間違ったコマンドモードにいるか、間違った構文を使用している可能性があります。

次の例は、Cisco VG350 の場合に、新しいコマンドモードを示す各コマンドの後でプロンプトがどのように変化するかを示しています。

```
Router> enable
Password: <enable password>
Router# configure terminal
Router(config)# interface gigabitEthernet 0/0
Router#
%SYS-5-CONFIG_I: Configured from console by console
```

最後のメッセージは正常で、エラーを示しているわけではありません。**Return** キーを押して、Router# プロンプトに切り替えます。



(注) Cisco VG310 および Cisco VG320 では、シリアル インターフェイスがサポートされていないため、イーサネット インターフェイスになります。



(注) どのモードでも、**exit** を入力して直前のモードに戻る代わりに、**Ctrl+Z** を押すと、すぐにイーサネットモード (Router#) に戻ります。

コマンドまたは機能の取り消し

入力したコマンドを取り消すか、または機能を無効にするには、大半のコマンドの場合、コマンドの前に **no** キーワードを入力します（例：**no ip routing**）。

変更した設定の保存

システムのリロードや停電の発生時に変更内容が失われないように、設定の変更を不揮発性 RAM (NVRAM) に保存するには、**copy running-config startup-config** コマンドを入力する必要があります。次に例を示します。

```
Router# copy running-config startup-config
Building configuration...
```

コンフィギュレーションが NVRAM に保存されるまでに、1～2分を要する場合があります。設定が保存されると、次が表示されます。

```
[OK]
Router#
```

新しい Cisco IOS リリースへのアップグレード方法

新しい Cisco IOS リリースをインストールまたはアップグレードするためには、『[How to Update/Upgrade Cisco IOS Software](#)』を参照してください。

次の作業

これで、Cisco IOS ソフトウェアの基礎を理解できました。CLI を使用してルータの設定を開始することができます。

次の事項を確認してください。

- コマンドの入力支援として、疑問符 (?) と矢印キーを使用できます。
- 各コマンドモードは、一定のコマンドセットに制限されています。コマンドの入力で問題がある場合は、プロンプトを確認し、使用可能なコマンドのリストを見るために疑問符 (?) を入力します。間違ったコマンドモードにいるか、間違った構文を使用している可能性があります。
- 機能を無効にするには、一般的にコマンドの前にキーワード **no** を入力します（例：**no ip routing**）。
- システムのリロードや停電が発生した際に変更内容が失われないように、設定の変更を NVRAM に保存する必要があります。

第 2 章「[ホスト名とパスワードの設定](#)」に進み、ルータの設定を開始してください。

